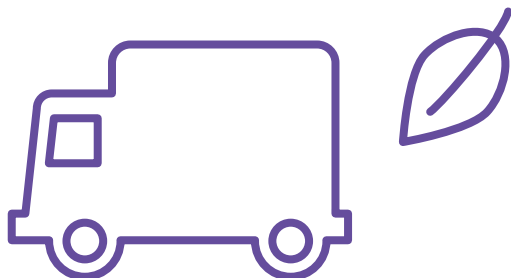


### 第1章 道路・運輸

- 166 道路
- 167 鉄道
- 168 バス
- 169 公共交通機関におけるバリアフリー化

### 第2章 環境

- 170 都市公園
- 171 自然公園利用者数
- 172 景観計画策定市町村率
- 173 公共下水道の普及率
- 174 ごみ排出量
- 175 ごみのリサイクル率
- 176 一般廃棄物の最終処分率
- 177 最終エネルギー消費量
- 178 再生可能エネルギーの導入実績





## 道路

## 道路実延長12,767.4km

平成29年4月1日現在の道路実延長は12,767.4kmとなっています。道路改良率は48.0%で全国43位となっています。

道路実延長の内訳は高速道路が17.8km、一般国道が843.6km、県道が1,294.0km、市町村道が10,612.0kmとなっています。このうち高速道路実延長は全国最下位となっています。

道路舗装率(簡易舗装を含む)は、高速道路は100%、一般国道は98.7%、県道は96.8%、市町村道は79.7%となっています。

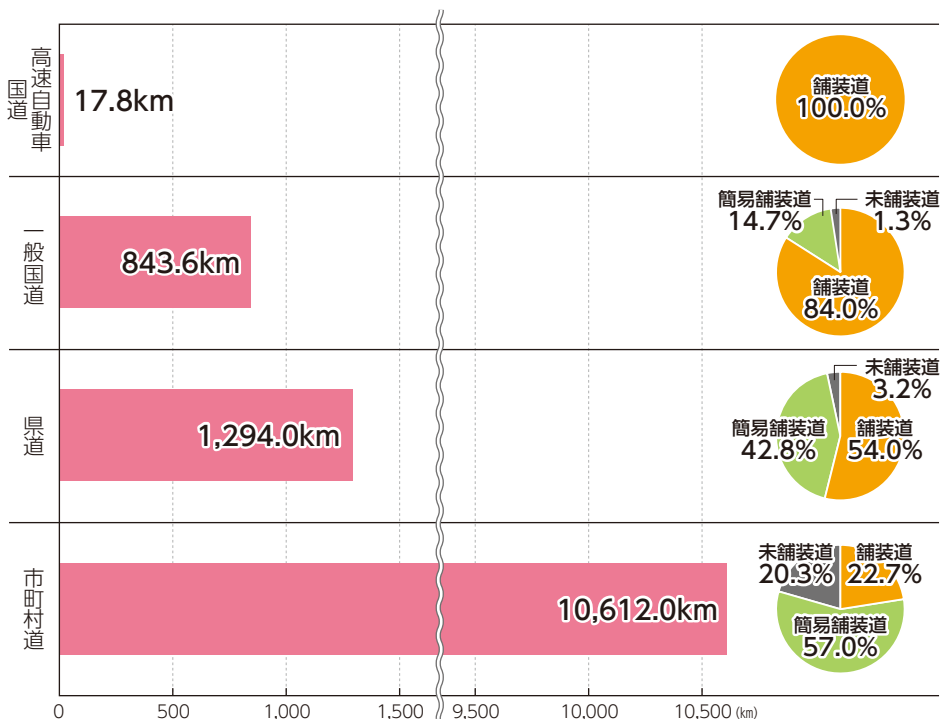
- 道路改良率…道路の整備状況を示す指標で、道路の実延長のうち、幅員、路面等の構造について道路構造令の技術的基準に適合し、自動車のすれ違い走行が可能ないように改良された割合。高速道路・一般国道・県道は車道幅員5.5m以上の道路、市町村道は5.5m未満を含む。

## 道路実延長及び道路舗装率

資料:国土交通省「道路統計年報2018」

## ●道路実延長

## ●道路舗装率





## 鉄道

**JRの1日平均乗車人員:総数 8万9,102人**  
**近鉄の年間乗車人員:総数 1億3,845万人**

平成29年度のJR輸送実績は、1日平均乗車人員の総数が8万9,102人で、前年度と比べて0.1%の減少、近鉄輸送実績は、年間の乗車人員総数が1億3,845万人で、前年度と比べて0.1%の増加となっています。

JRの輸送実績を1日平均乗車人員で路線別にみると、大和路線（関西本線）が6万6,451人で全体の74.6%、和歌山線は1万2,433人、万葉まほろば線（桜井線）は1万218人となっています。

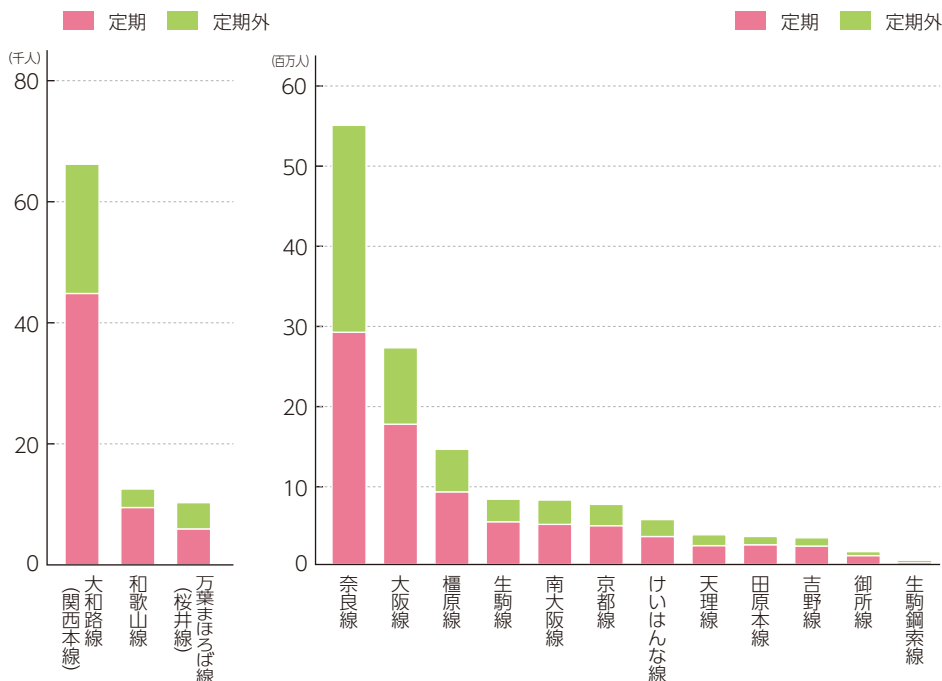
近鉄の輸送実績を年間の乗車人員で路線別にみると、奈良線が5,508万人、大阪線は2,713万人、橿原線は1,445万人、生駒線は817万人、南大阪線は804万人、京都線は753万人、けいはんな線は561万人となっています。

### JR路線別乗車人員 (1日平均:平成29年度)

資料:西日本旅客鉄道株式会社

### 近鉄路線別乗車人員(年間:平成29年度)

資料:近畿日本鉄道株式会社





## バス

奈良交通バスの輸送人員 : 5,100万7千人

奈良交通バス実車走行距離: 1,957万4千km

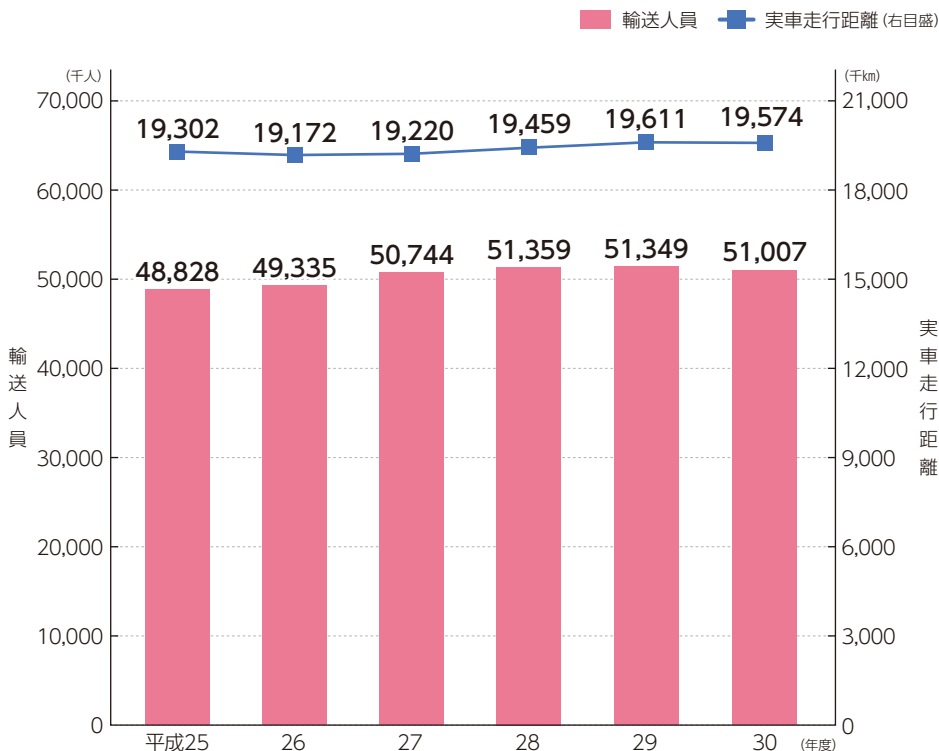
平成30年度における奈良交通乗合バスの輸送人員実績は、5,100万7千人で、前年度と比べて0.7%の減少、実車走行距離は1,957万4千kmで、前年度と比べて0.2%の減少となっています。

平成30年度の奈良交通乗合バスの輸送人員実績は、平成25年度の4,882万8千人と比べて、4.5%の増加となっています。また、平成30年度の実車走行距離は、平成25年度の1,930万2千kmと比べて1.4%の増加となっています。

※乗合バスのうち、定期観光バス、高速バス、空港リムジンバスに係る実績は含まれていません。また、実績は奈良運輸支局管内のものです。

## 奈良交通乗合バス輸送実績の推移

資料:奈良交通株式会社





## 公共交通機関におけるバリアフリー化

鉄道駅の段差解消率は75.0%で全国33位

ノンステップバスの導入率は41.6%で全国16位

平成29年度の県内鉄道駅の段差解消率は、全国の89.3%を下回っていますが、継続的な取り組みを行っています。

また、平成29年度のノンステップバスの導入率は、全国の43.1%を下回っていますが、前年度と比較して4.0ポイント増加しています。

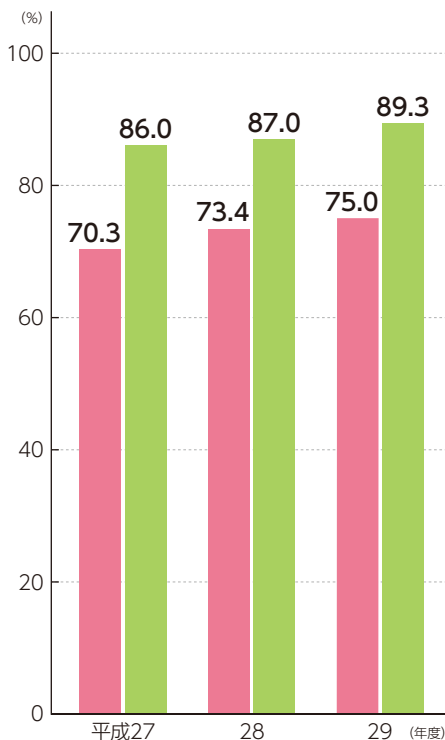
※鉄道駅については、1日当たりの平均利用者数が3千人以上の駅が対象

※ノンステップバスの導入率の値は、乗合バス総車両数比

## 鉄道駅の段差解消率の推移

資料:国土交通省、県地域交通課

■ 奈良県 ■ 全国



## ノンステップバスの導入率の推移

資料:国土交通省

■ 奈良県 ■ 全国

